

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
令和6年度 第1回理事会 議事録

- 1.開催日時 令和6年4月11日 午後7:00～午後8:30
 - 2.開催場所 ZOOM会議
 - 3.理事総数 10名
 - 4.出席者数 4名（書面表決書2名）
出席者（山西哲郎、前河洋一、保原幸夫、小林均 敬称略）
書面表決書（宇佐美彰朗、鈴木良雄 敬称略）
 - 5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第1号議案 前回理事会（1月20日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったので承認されたものとする旨報告があった。
 - 第2号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として前河洋一氏と保原幸夫氏が選出された。
 - 第3号議案 諸届けについて
保原氏より4月～6月に行わなければいけない諸届けの進行状況について説明があった。
東京都庁宛の「役員変更届」は4月中に提出予定である
内容は、宇佐美氏の住所変更、森川、比嘉両氏の理事辞任についてである。
新宿税務署宛および都税事務所宛の収益事業に関する確定申告および納税は5月中に実施する予定である。
 - 第4号議案 令和5年度事業報告書等提出書類について
保原氏より、前理事会で承認された事業報告書、会計報告書（「活動計算書」、「計算書類の注記」、「貸借対照表」、「財産目録」）等について所定の様式にまとめた提出書類の説明があり、承認された。なお、会計関係書類については前回理事会以降の実績を反映させた確定版であり、
前回理事会後の変化点について説明があった。確定数字は下記の通りである。
経常収益；¥1,790,013、経常経費；¥2,425,361、税引前当期経常収支；△¥635,348
となり、これに税金¥70,000を加味すると、次期繰越正味財産は2,233,314となった。
会計書類については未払金等の精査を行い数字を確定した後、監事による監査および総会承認を経て都庁に提出する予定である。
 - 第5号議案 令和6年度事業計画・予算について
保原氏より、前回理事会討議を踏まえた令和6年度事業計画および予算について説明があった。

■「熟年ランニングスクール」は4月2日(火)に開始しており、「J S I Eエコノミカルランニング教室」は4月13日(土)に開始予定である。

■「北海道マラソン教室」

ランナーズサポート北海道から北海道マラソン前日のトークショーはランニング学会の鍋倉会長に出演要請する旨連絡があった。鍋倉氏は当協会会員ではないので、当協会からの講師派遣扱いにするかどうかは未定である。できれば、これを機会に会員になって貰いたいと思っている。

■「エコノミカルランニングに関する研究」

宇佐美副理事長提案の「エコノミカルランニング」(著作権:宇佐美氏)がランニング教室実施を通じて、理論的にも裏付けできてきたので、論文レベルにまとめ上げる。

■「人生100年時代のランニングに関する研究」

上記「エコノミカルランニング」を高齢者に適用する形で、ランニング学会のプロジェクト研究として提案する事になった。提案後はランニング学会の理事会での審査を受けることになる。提案書の作成は保原氏が行う。

■事業計画案に基づいた予算案では、管理費を会員の年会費で賄わなければならない現状では年間収支は20万円程度の赤字になるので、来年度末の繰越正味財産は200万円程度になる見込みである。

現時点で年会費の未収金4万円を加味しての数字なので、これが納入されなければ正味財産額は下方修正されるので、年会費未納の4名の方には納入をお願いしたい。

第6号議案

今後の協会運営について

今後の活動に関してブレインストーミングを行い下記のような提案が出された。

山西理事長から、以前は実施していた講演会(セミナー)等を再開したらどうかとの話があり、講師あるいはシンポジストとして、朝日新聞の忠鉢氏、WBC監督の栗山氏、元立正大学駅伝監督の中村氏、陸連強化委員の高岡氏、スカイランニング協会の松本氏、オリエンテーリング協会の寺垣内氏などが挙げられた。

また、前河副理事長からは現状では数年で運営資金が枯渇してしまうので、会員数の増加や収益が見込まれる事業に関するアイデアを出し合う機会を作ったらどうだろうかとの話があった。

第7号議案

その他

■理事辞任について

比嘉理事より、諸事情により本年度末をもって理事を辞任したい旨連絡があったので、承認することにしたい。その結果、本年度末をもって森川、比嘉両氏が辞任することになり、理事総数は10名となった。

■令和6年度年次総会について

昨年同様、対面形式で開催することになった。事業報告書提出の関係で5月末～6月前半の土日となる。日程は候補日を何日か提案し、出席人数ができるだけ多くなる日にすることになった。日程が決まり次第、昨年同様東京海洋大学に打診することになった。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後 8 時 30 分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

令和 6 年 4 月 11 日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議 長

山西 松 卯



議事録署名人

前河 洋一



議事録署名人

保原 幸夫

